

■第2回(2月)助成 助成先4団体:合計助成額 1,103,000円

団体名	砦・多摩川あそび村		特定非営利活動法人特別支援教育研究会
企画名	夕飯プロジェクト		NPO 法人による新たな児童発達支援事業の開設
活動エリア	世田谷区		文京区
団体の概要	世田谷区内で15年前から自然体験遊び場事業「きぬたまあそび村」「ちびたまあそび村」を行なっている。戸外で遊ぶことが難しくなっている子どもたちに対し、乳幼児期の「五感を使って生きる力を育む」プログラムを自然豊かな多摩川のフィールドで行い、子どもの育ちを応援している。		高校学齢期の障害児を対象とした児童発達支援事業の開設のために2013年5月に設立された団体。15歳から18歳を対象とした児童発達支援事業は国内初の取組みとなる。
応募の内容	助成を受けたい事業・活動内容	新たな拠点となる「鎌田の家」を活用して、夕飯プロジェクトを立ち上げる。安心できる食材を安心できる人が調理し、安心できる人と一緒に食べることを通して、子どもがコミュニティの中で生きていくことの安定につなげる。	障がいをもつ児童の高校学齢期は多くは特別支援学校に進学するが、そこでは就労訓練の割合が多く、個を伸ばす取組みに欠けている傾向にある。就労を意図した取組みだけでなく、文字の読み書きや計算の訓練、時間の概念の取得や余暇活動の開拓に費やす時間をもっと増やしたいことから、高校生を対象とした独自のプログラムによる児童発達支援事業に取り組む。
	項目	調理に関わる備品類、リヤカー、家具、前家賃	パソコン、プリンター、テレビ、前家賃
	助成申請金額	500,000円	500,000円
	応募分類	①新たな地域福祉事業の立ち上げ準備費用	①新たな地域福祉事業の立ち上げ準備費用
結果	助成対象項目	備品合計の2/3、前家賃	申請通り
	助成額	374,000円	500,000円

団体名	東村山・ワーカーズまちの縁がわ本町	こだいら DV 防止ネットワーク
企画名	ほっとスペースまちの縁がわ美住(サテライト)	DV 相談・同行支援事業
活動エリア	東村山市	小平市
団体の概要	ほっとスペースまちの縁がわ本町を開設するにあたり、2011年12月24日に設立された。若い子育て家庭から高齢者の方まで多世代が集う居場所の運営を行なっている。地域に開かれた場所として、ランチ提供や相談、ちょっとした困りごとの解決をコーディネートしている。	DV は暴力を受けている被害当事者はもちろん、その家庭の子どもたちにとっても大きな影響をもたらすことから、DV についての正しい知識を得るための講座や通信の発行を通して、DV は暴力により相手をコントロールし抑えつける人権侵害であることを伝える活動を2008年から行なってきた。
応募の内容	助成を受けた事業・活動内容	DV についての啓発はすすんできたものの、依然偏見や誤解も多く、悩みをどこに相談すればよいかわからないケースも少なくない。また、主な相談者は友人や家族で、多くの場合公的機関や民間支援団体など具体的な支援につながっていない。公的機関は敷居が高いという認識もあることから、気軽に DV についての相談ができる場をつくり、そこから市や専門的な民間支援団体につなげて、当事者やその子どもたちの支援につなげていく。
	項目	食器、電気ストーブ、椅子、スリッパ、湯沸しポット
	助成申請金額	95,730 円
	応募分類	①新たな地域福祉事業の立ち上げ準備費用
結果	助成対象項目	申請通り
	助成額	64,000 円